

Adaptec 7800 Family Manager Set

ユーザース・ガイド

SA88-6621-01

Adaptec 7800 Family Manager Set

ユーザース・ガイド

SA88-6621-01



第 1 版 (1999年 2月)

原 典 :	Adaptec Family Manager Set User's Guide
発 行 :	日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当 :	ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.2

Translation: (C) Copyright IBM Japan 1997

© Copyright International Business Machines Corporation 1996. All rights reserved.

目次

第1章 はじめに	1
デバイス・ドライバ	1
Adaptec 7800 ファミリー・ホスト・アダプター	2
必要なシステム	3
第2章 Microsoft Windows NT のインストール	5
Windows NT の導入時にドライバをインストール	5
新規 Windows NT 4.0 インストールの完了	5
Windows NT がすでに導入されているときにドライバを更新	6
Windows NT 4.0 の更新	6
拡張構成可能パラメーターの使用法	7
Windows NT SCSI パラメーターの使用法	7
ドライバ固有パラメーターの使用法	9
Windows NT およびホスト・アダプターの使用法	11
ホスト・アダプターの削除	11
ホスト・アダプターのスワップ	12
トラブル対策	13
問題および解決策	13
エラー・コード	13

第1章 はじめに

注:

本製品では、Windows NT 4.0 のみをサポートしています。よって、それ以外のオペレーティング・システムに関する記述は無視してください。

Adaptec(R) 7800 ファミリー・マネージャー・セット v3.x は、ソフトウェア（ドライバー）で、これを使えばお持ちの Adaptec 7800 ファミリー・ホスト・アダプターがコンピューターと通信することができます。Adaptec 7800 ファミリー・マネージャー・セットには、以下のオペレーティング・システムに関するドライバーが含まれています。

- Microsoft Windows NT

本章の残りの部分には、Adaptec 7800 ファミリーを構成する全 Adaptec ホスト・アダプター、ならびにソフトウェアのインストールに必要な最小要件がリストされた表が含まれます。次に、オペレーティング・システムのインストール時にドライバーをインストールする方法について説明してあります。オペレーティング・システムがすでにインストールされている場合は、ドライバーの更新または導入に関する手順も含まれています。ドライバーのインストールおよび使用に関する問題が生じた場合には、終わりに含まれているトラブルシューティングのセクションを参照してください。

デバイス・ドライバー

7800 Family Manager set は、1 つのオペレーティングシステムに対し、2 つのドライバーを持っています。1 つが Ultra SCSI およびそれ以前のデバイスについて、そしてもう 1 つが Ultra2 SCSI に対してです。

このマニュアルは導入に関して、どちらのドライバーに対しても記述しています。以下のリストを参考にして、ディスクットや CD-ROM から導入する際に、参照してください。

オペレーティング・システム	Ultra SCSI ドライバー	Ultra2 SCSI ドライバー
Windows NT	aic78xx.sys	aic78u2.sys

SCSI ドライバーの導入に関しては、後述いたします。

Adaptec 7800 ファミリー・ホスト・アダプター

以下の Adaptec PCI-to-SCSI ホスト・アダプターは、すべて Adaptec 7800 ファミリー・ホスト・アダプターと呼ばれます。

ホスト・アダプター (1/2)	記述
AHA-2910	PCI-to-Fast SCSI (ブート不能)
AHA-2930	PCI-to-Fast SCSI
AHA-2940	PCI-to-Fast SCSI
AHA-2940W	PCI-to-Fast および Wide SCSI
AHA-2940AU	PCI-to-Ultra SCSI
AHA-2940U	PCI-to-Ultra SCSI
AHA-2940UW	PCI-to-Wide Ultra SCSI
AHA-2940U2W	PCI-to-Ultra2 Wide Single-ended SCSI
AHA-2940U Dual	MultiChannel PCI-to-Ultra SCSI With Dual External Connectors
AHA-2940UW Dual	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra SCSI with Dual External Connectors
AHA-2944W	PCI-to-Fast および Wide Differential SCSI
AHA-2944UW	PCI-to-Wide Ultra Differential SCSI
AHA-3940	MultiChannel PCI-to-Fast SCSI
AHA-3940W	MultiChannel PCI-to-Fast および Wide SCSI
AHA-3940U	MultiChannel PCI-to-Ultra SCSI
AHA-3940UW	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra SCSI
AHA-3940UWD	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra SCSI with Dual External Connectors
AHA-3940AU	MultiChannel PCI-to-Ultra SCSI
AHA-3940AUW	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra SCSI
AHA-3940AUWD	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra SCSI with Dual External Connectors
AHA-3944UWD	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra Differential SCSI with Dual External Connectors
AHA-3944AUWD	MultiChannel PCI-to-Wide Ultra Differential SCSI with Dual External Connectors
AHA-4944W	Quad Channel PCI-to-Fast および Wide Differential SCSI

ホスト・アダプター (2/2)	記述
AIC-7850	Single-chip PCI-to-Fast SCSI
AIC-7855	Single-chip PCI-to-Fast SCSI
AIC-7856	Single-chip PCI-to-Fast SCSI
AIC-7860	Single-chip PCI-to-Ultra SCSI
AIC-7870	Single-chip PCI-to-Fast and Wide SCSI
AIC-7880	Single-chip PCI-to-Wide Ultra SCSI
AIC-7895	Single-chip PCI-to-MultiChannel Wide Ultra SCSI

必要なシステム

以下は、Adaptec 7800 ファミリー・マネージャー・セットのインストールに最小限必要な推奨システムです。

- Adaptec 7800 ファミリー・ホスト・アダプターをインストールして環境設定してある PCI コンピューター。
- サポート CD。本製品に標準で同梱されています。
- 1.44 MByte ディスケット・ドライブ。ディスク・ドライブは、サポート CD から Adaptec 7800 ファミリー・マネージャー・セットのディスクを作成する場合にのみ必要です。
- オペレーティング・システムに含まれる、販売ソフトウェアとマニュアル。

第2章 Microsoft Windows NT のインストール

本章では、Windows NT(TM) - Windows NT 用 Adaptec 7800 ファミリー・マネージャー・セット・ドライバー (aic78xx.sys と aic78u2.sys) のインストール方法について説明します。aic78xx.sys ドライバーは全ての Adaptec 7800 Family Ultra SCSI (またはその以前の) ホスト・アダプターをサポートし、aic78u2.sys ドライバーは全ての Ultra2 SCSI アダプターをサポートします。2ページの『Adaptec 7800 ファミリー・ホスト・アダプター』を参照してください。

初めて Windows NT のインストールを行う場合は、『Windows NT の導入時にドライバーをインストール』を参照してください。Windows NT がすでにシステム上にインストールされている場合には、6ページの『Windows NT がすでに導入されているときにドライバーを更新』を参照してください。

Windows NT の導入時にドライバーをインストール

aic78xx.sys ドライバーのあるバージョンが、Windows NT 4.0 インストール・ディスク (または CD-ROM) に組み込まれて (含まれて) います。通常の Windows NT インストール中に、7800 Family ホスト・アダプターがユーザーのシステム内で検出され、組み込まれた aic78xx.sys ドライバーが自動的にインストールされます。

注:

もし 7800 Family ホストアダプターからブートしている場合、NT の導入時に組み込まれた aic78xx.sys ドライバーを導入することはできません。NT の導入を完了し、そのあとの手順に従ってください。

aic78u2.sys ドライバー (Ultra SCSI) は、Windows NT 導入ディスクには含まれていません。一旦 Windows NT の導入を完了後、6ページの『Windows NT がすでに導入されているときにドライバーを更新』の手順に従ってください。

新規 Windows NT 4.0 インストールの完了

1. フロッピー・ドライブの Windows NT Boot Diskette でシステムを開始します。
2. プロンプトが出たら、ディスク #2 をフロッピー・ドライブに挿入します。やがて青色の画面が表示されます。ここで Windows NT をセットアップするためには、Enter を押します。
3. S を押して、SCSI ホスト・アダプターの自動検出をスキップします。

4. 再び **S** を押し、追加デバイスを指定します。
5. **Enter** を押し、その他 (ハードウェア・メーカー提供のディスクが必要) を選択します。
Windows NT 用 7800 ファミリー・マネージャー・セット・ディスクをフロッピー・ドライブに挿入します。
6. 次のドライバーから選択します。Adaptec AHA-29 x/291x/294x/394x/
4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (NT 4.)

または、

Adaptec AHA-294xu2/AIC-789 /91 PCI Ultra2 SCSI Controller (NT 4.)
7. ドライバーを選択し、**Enter** キーを押します。
8. 7800 ファミリーの一部ではない他のホスト・アダプターを追加したい場合には、この時点で **S** を押し、各追加アダプターに対してステップ 4 (5ページ) より繰り返し、ハードウェア・メーカーによって提供されているディスクを挿入し、それを実行します。Adaptec 7800 ファミリーの各ホスト・アダプターは同じドライバーを使用します。再度ドライバーをインストールする必要はありません。
9. **Enter** を押し、Windows NT オペレーティング・システムのセットアップを続けます。画面の説明と、Windows NT のマニュアルの手順に従い、インストールを完了させます。

Windows NT がすでに導入されているときにドライバーを更新

Windows NT がすでに導入されている場合に `aic78xx.sys` または `aic78u2.sys` ドライバーを更新または導入するためには、以下の手順に従ってください。

Windows NT 4.0 の更新

1. Windows NT を開始します。
2. Windows NT タスク・バーの スタート ボタンをクリックし、設定 (**S**) をポイントします。
3. コントロール・パネル (**C**) をクリックします。
4. **SCSI** アダプター アイコンをダブルクリックします。
5. ドライバー タブをクリックし、次に 追加 (**A**) ボタンをクリックします。
6. ドライバのインストール・ウィンドウで、ディスク使用 (**H**) ボタンをクリックします。

- Windows NT 用 7800 ファミリー・マネージャー・セット・ディスクをドライブ A に挿入します。インストール・ファイルに対して以下のパスを入力し、OK をクリックします。
a:\winnt\i4_0
- ドライバーのインストール・ウィンドウで、OK をクリックします。
- 現在インストールされているドライバーを使用するのか、または新しいものをインストールするのか尋ねてきたら、New ボタンをクリックします。
- a:\winnt\i4_0 と再び入力し、Continue をクリックします。これでドライバーがインストールされました。
- 変更内容を有効にするためには、コンピューターを再始動する必要があります。Yes をクリックしてコンピューターを再始動します。

拡張構成可能パラメーターの使用法

習熟したユーザーは、ソフトウェア・パラメーターを使用し、Adaptec によって提供される Windows NT デバイス・ドライバーの構成を変更することもできます。すべての Windows NT 構成情報は、レジストリーと呼ばれるデータ構造内に格納されます。レジストリーエディターと呼ばれるツールにより、この情報を編集することができます。

注:

絶対に必要ではない限り、レジストリーを編集しないでください。レジストリーの内容が不適切な場合、コンピューターは機能しなくなることがあります。

Windows NT SCSI パラメーターの使用法

以下の手順に従い、Windows NT SCSI マネージャーによる SCSI デバイス・ドライバーの構成情報を変更するパラメーターとして、レジストリー値を入力します。ユーザーのシステムにインストールされている全 SCSI ホスト・アダプターは、ここに入力される値によって影響を受けます。有効値は次のとおりです。

注:

以下の値キーは大文字小文字の区別があり、示されているように正確に入力する必要があります。

- DisableTaggedQueuing - 非ゼロ値は、SCSI ホスト・アダプターが SCSI デバイスに関するタグ待ち行列を使用不可にすることを示します。この値のデータ・タイプは REG_SZ です。
- DisableSynchronousTransfers - 非ゼロ値は、SCSI ホスト・アダプターは同期折衝を開始しないことを示します (しかし SCSI ターゲットによって開始された折衝は受諾します)。この値のデータ・タイプは REG_SZ です。
- DisableDisconnects - 非ゼロ値は、SCSI コマンドの実行中は、ターゲットは、切断を許可されないことを示します。この値のデータ・タイプは REG_DWORD です。
- MaximumLogicalUnit - SCSI バス上に接続されたデバイスのスキャンを制限することができます。有効値は 1 ~ 8 です。1 が指定された場合は、Windows NT SCSI マネージャーは、どの SCSI ターゲットも 0 以外の LUN をサポートしないことを前提とします。そうでない場合、0 ~ 8 の LUN は、システム初期設定中にスキャンされます。この値のデータ・タイプは REG_DWORD です。
- MaximumSGList - scatter gather するエレメントの最大数を指定します。有効値は 17-255 で、この値のデータ・タイプは REG_DWORD です。

Windows NT パラメーターを入力するには、以下の各ステップに従ってください。

1. スタート ボタンからファイル名を指定して実行 (**R**) をクリックします。
2. regedt32 と入力し、Enter を押します。
3. 以下の位置に対するレジストリー・リストをオープンします。

```
¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥
Services¥aic78xx¥Parameters¥Device
```

または

```
¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Service¥aic78u2¥
Parameters¥Device
```

¥Parameters¥Device キーがすでに存在する場合は、以下のステップ 8 (9ページ) までスキップし、値の入力を開始してください。キーがまだ存在していない場合は、ステップ 4 に進んでそれらを作成する必要があります。

4. aic78xx または aic78u2 キーをクリックします。
5. 編集 (**E**) メニューから キーの追加 (**K**) を選択します。キー名 (**K**) 編集ボックスにパラメーターを入力します。クラス (**C**) 編集ボックスはブランクのままにし、OK をクリックします。
6. 今入力した Parameters キーをクリックします。

7. 編集 (E) メニューから キーの追加 (K) を選択します。キー名 (K) 編集ボックスにデバイスを入力します。クラス (C) 編集ボックスはブランクのままにして、OK をクリックします。

特定のホスト・アダプターを指定するには、デバイスの後ろにホスト・アダプターの番号を付加します。たとえば、第1ホスト・アダプターに関しては Device0 と入力し、第2ホスト・アダプターに関しては Device1 となります。ホスト・アダプター番号が省略された場合には、構成情報はすべての 7800 Family ホスト・アダプターに適用されます。

8. 今入力した デバイス・キーをクリックします。
9. 編集 (E) メニューから 値の追加 (V) を選択します。値の名前 (V) 編集ボックスで、有効なパラメーター値の1つを入力します。必ず値に関して適切なデータ・タイプを入力してください。追加値を入力するには、ステップ 8 とステップ 9 を繰り返します。

注:

レジストリー・エディターで行われた変更は、システムの遮断および再始動が行われるまでは効果を持ちません。

ドライバー固有パラメーターの使用法

レジストリー・エディターを使用して、Adaptec SCSI PCI デバイス・ドライバーに関する構成情報に影響を与える aic78xx.sys または aic78u2.sys ドライバー固有パラメーターを入力するには、以下の手順に従ってください。有効なパラメーターは以下のとおりです。

注:

以下のパラメーターは大文字小文字の区別があり、示されているように正確に入力する必要があります。複数のパラメーターを入力するときは、各パラメーターはスペースで区切る必要があります。

- /INSTRUMENTATION - I/O 統計およびエラーの記録を使用可能にします。このオプションが指定されない場合には、計測は使用不可にデフォルト設定されます。この値のデータ・タイプは REG_SZ です。
- /INSTR_ERRLOG_Z = nnn までは、/INSTRUMENTATION が使用可能の場合は、エラー・ログ項目の最大数を設定します。数が指定されない場合には、エラー・ログ項目の最大数はデフォルトの 32 となります。有効値は 0~128 です。この値のデータ・タイプは REG_SZ です。

- /MAXTAGS = nnn - タグ・コマンド待ち行列深さを指定します。数字が指定されない場合には、タグ待ち行列深さはデフォルトで 128 となります。有効値は 1~255 です。この値のデータ・タイプは REG_SZ です。

ドライバー固有パラメーターを入力するには、以下の各ステップに従ってください。

1. あるいは スタート ボタンからファイル名を指定して実行 (**R**) をクリックします。
2. regedt32 と入力し、Enter を押します。
3. 以下の位置に対するレジストリー・リストをオープンします。

```
¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥  
Services¥aic78xx¥Parameters¥Device¥DriverParameters
```

```
または ¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥  
Services¥aic78u2¥Parameters¥Device¥DriverParameters
```

¥Parameters¥Device¥DriverParameters キーがすでに存在する場合は、以下のステップ 10 までスキップし、パラメーターの入力を開始してください。キーがまだ存在していない場合は、ステップ 4 に進んでそれらを作成する必要があります。

4. aic78xx または aic78u2 キーをクリックします。
5. 編集 (**E**) メニューから キーの追加 (**K**) を選択します。キー名 (**K**) 編集ボックスにパラメーターを入力します。クラス (**C**) 編集ボックスはブランクのままにして、**OK** をクリックします。
6. 今入力した Parameters キーをクリックします。
7. 編集 (**E**) メニューから キーの追加 (**K**) を選択します。キー名 (**K**) 編集ボックスにデバイスを入力します。クラス (**C**) 編集ボックスはブランクのままにし、**OK** をクリックします。

特定のホスト・アダプターを指定するには、デバイスの後ろにホスト・アダプターの番号を付加します。たとえば、第 1 ホスト・アダプターに関しては Device0 と入力し、第 2 ホスト・アダプターに関しては Device1 となります。ホスト・アダプター番号が省略された場合には、構成情報はすべての 7800 Family ホスト・アダプターに適用されます。

8. 今入力したデバイス・キーをクリックします。
9. 編集 (**E**) メニューから 値の追加 (**V**) を選択します。値の名前 (**V**) 編集ボックスに DriverParameters を入力します。データ・タイプとして REG_SZ を入力し、Enter を押します。
10. 文字列エディタ テキスト・ボックスが現れます。有効なパラメーターをテキスト・ボックスに入力します。複数のパラメーターを入力するときは、各パラメーターはスペースで区切る必要があります。

注:

レジストリー・エディターで行われた変更は、システムの遮断および再始動が行われるまでは効果を持ちません。

Windows NT およびホスト・アダプターの使用法

このセクションには、Windows NT およびホスト・アダプター使用に関する有用な情報が含まれています。

ホスト・アダプターの削除

ホスト・アダプターの削除は、コンピューターが遮断したときにそれをスロットから物理的に取り外すだけです。Windows NT はこのコンフィギュレーションで起動し正しく機能しますが、Windows NT が起動するたびに警告メッセージを生成します。

注:

ホスト・アダプターを取り外しても、まだ他の同じタイプのホスト・アダプターがコンピュータにインストールされている場合は、デバイス・ドライバを削除するのに、Windows NT Setupを使わないでください。

警告メッセージを出させないようにするには、Windows NT ソフトウェア・コンフィギュレーションを以下の手順に説明されているように更新する必要があります。

Windows NT 4.0 におけるホスト・アダプターの削除

1. コントロール・パネルから、**SCSI** アダプター アイコンをダブルクリックします。
2. ドライバー タブをクリックします。
3. 削除しようとしているドライバーを選択します。ドライバーは以下の1つとして現れます。

Ultra SCSI の場合

Adaptec AHA-294X/AHA-394x/AHA-4944 または AIC-78xx PCI SCSI Controller (NT 4.)

または

Adaptec AHA-294x/AHA-394x または AIC-78xx PCI SCSI Controller (NT 4.)

または

Adaptec AHA-294x/AHA-394x または AIC-78xx PCI SCSI Controller

Ultra2 SCSI の場合

Adaptec AHA-294Xu2/AIC-789 /91 PCI Ultra2 SCSI Controller (NT 4.)

4. 削除 (**R**) ボタンをクリックします。
5. 削除しようとするホスト・アダプターのタイプが正しければ、**Yes** をクリックします。
6. コンピューターを再始動します。

注:

Windows NT Setup は、システム・ディスクからデバイス・ドライバーを削除しません。それはシステムのブートアップ時にデバイス・ドライバーがロードされないように Windows NTソフトウェア・コンフィギュレーション情報を更新するだけです。

ホスト・アダプターのスワップ

7800 ファミリー・ホスト・アダプターと非 7800 ファミリー・ホスト・アダプターのスワッピングは、ホスト・アダプター追加の手順と似ています。重要な違いは、Windows NT が実行しているあいだ、そしてハードウェアの変更を行う前に、すべてのソフトウェア・コンフィギュレーションを変更することです。

注:

新しいホスト・アダプターに同梱されているドライバーを導入しない場合、Windows NT は Boot に失敗するかもしれません。

アダプターを交換するには、以下のステップに従います。

1. 「Windows NT がすでに導入されているときにドライバーを更新」のすべてのステップに従い、7800 ファミリー・ホスト・アダプターのドライバーをインストールします。

置換しようとしているホスト・アダプターのデバイス・ドライバーを削除することは必ずしも必要ではありません。Windows NT は動的にホスト・アダプター・ハードウェアの不在または存在を検出するので、既存のデバイス・ドライバーをそのままにしておいても、何も問題は起きないはずで、後で、Windows NT の再起動に成功してからそのデバイス・ドライバーを取り外すこともできます。ただし、ドライバーをインストールしたままにしておくと、起動するたびに余計なデバイス・ドライバーに関するエラー・メッセージが警告されます。11ページの『ホスト・アダプターの削除』を参照してください。

2. いったん、新しいデバイス・ドライバーがインストールされると、Windows NT をシャットダウンして既存のホスト・アダプターを交換します。
3. コンピューターと Windows NT を再起動します。一部のドライブ名の割当てが前のコンフィギュレーションから変化しているものがある可能性があります。

トラブル対策

問題および解決策

Q. ホスト・アダプターの構成に対して変更を行い、Windows NT がブートしない。

A. Windows NT のブート・マネージャーの機能の一つに、ユーザーが直前の既知の構成状態に戻す、というものがあります。ホスト・アダプターの構成を変更し、Windows NT がブートしなくなった場合には、以下の各ステップに従って修復を行ってください。

1. コンピューターに対して行ったハードウェア変更をやり直し、最後に稼動していた状態に戻します。
2. コンピューターをリポートします。ブートアップ中は表示を慎重に観察します。次のメッセージが表示された場合は、スペース・キーを押して、画面の指示に従って最後に知られていた良好なコンフィギュレーションで起動を継続します。

Press spacebar NOW to invoke the Last Known Good menu

3. コンピューターが再び操作可能となったら、実行したいすべてのハードウェアおよびソフトウェア構成変更をチェックします。特に変更されない既存のシステム・コンフィギュレーションの部分との衝突を見ます。

エラー・コード

aic78xx.sys または aic78u2.sys ドライバーによって生成されるエラー・コードは、Windows NT イベント・ビューアのエラー・ログをオープンすることによって見ることができます。

ドライバーによって生成されるイベントを見るには、以下のステップに従います。

1. 管理ツール(共通) プログラム・グループの イベント・ビューア アイコンをダブルクリックします。

ドライバーによって生成されるエラー・コードが、Event ID 11 として表示されます。
SCSIPort によって生成されるエラー・コードが、Event ID 9 として表示されます。

2. イベントの詳細を見るには、ログ (L) メニューから システム (Y) を選択します。Event ID 11 を持つ aic78xx.sys または aic78u2.sys ドライバー・イベントをダブルクリックします。(ドライバー・イベントがない場合も、複数ある場合もあります。)

イベントの詳細ダイアログ・ボックスの一番上の部分は、イベントが生成された時刻、イベントが発生したコンピューター (リモート・モニタリングの場合) およびイベントの記述などの情報を表示します。イベントの詳細ダイアログ・ボックスのデータ・セクションは、生成されたエラー・コードを表示します。

ダイアログ・ボックスのデータセクションで、2 行目の 2 列目の項目 (0010: 項目の右側) は、aic78xx.sys ドライバーによって生成されるエラー・コードをリストします。ドライバーに関する共通エラー・コードについて以下に説明します。

注:

最後の欄の 3 番目の行の項目は、エラーの起点となるデバイスの SCSI ID を識別します。

aic78xx.sys または aic78u2.sys エラー・コード

以下のエラー・コードは、コードの下 3 桁に基づいて順番にリストされています。たとえば、[xxxxxx010], [xxxxxx011] [xxxxxx012], など。

注:

カスタマー・サポートに問題を報告するときは、問題に関する全エラー・コードを必ず確認してください。

[xxxxxx004]

[xxxxxx005]

[xxxxxx006]

コマンドがエラーとともに完了しました。ターゲット・デバイスに対して発行された要求は、エラーが存在する旨の表示とともに完了しました。ほとんどの場合、エラーは回復され、通常の操作が継続します。

[xxxxx010]

コマンド発行時のエラー。ドライバーがその内部データ構造を設定しているときにエラーが発生しました。

[xxxxx011]

コマンド発行時のエラー。要求されたコマンドはこのドライバーによってサポートされていません。

[xxxxx012]

[xxxxxx99]

コマンド発行時のエラー。ドライバーはターゲット・デバイスを認識しません。

[xxxxx021]

デバイス・プロトコル・エラー。アダプターとターゲット・デバイス間のデータ転送中に、予期しないイベントが発生しました。通常は、これはターゲット・デバイスの障害または不適合を示します。

[xxxxx022]

アダプターまたはターゲット・デバイス・プロトコル・エラー。アダプターまたはターゲット・デバイスが通信プロトコルを切断しました。デバイスの不正活動がこのメッセージを生じさせた可能性があります。通常これは重大な問題ではありません。短期間にこのメッセージが頻繁に表示される場合は、デバイスまたはシステムが誤動作している可能性があります。未使用のデバイスの接続を外したり、電源を切り、問題が存続するかどうかを見ます。

[xxxxx023]

ターゲット・デバイスのパリティ・エラー。ドライバーはターゲット・デバイスによるパリティ・エラーを検出しました。

[xxxxx024]

データのオーバーランまたはアンダーラン。アダプターは、予想されるよりも多い、または少ないデータを与えられました。

[xxxxx031]

ターゲット・デバイス待ち行列満杯。ターゲット・デバイスの内部バッファが満杯です。

[xxxxx032]

ターゲット・デバイス使用中。ターゲット・デバイスは使用中状態を報告しています。他のプログラムがこのデバイスをすでに使用している可能性があります。

[xxxxx050]

[xxxxxx9A]

ホスト・アダプター障害。ホスト・アダプターが正しくインストールされていないか、あるいは欠陥がある可能性があります。アダプターを PCI スロットに装填し直すか、または別の PCI スロットへインストールしてみてください。

[xxxxx081]

[xxxxx08A]

[xxxxx083]

アダプター初期設定障害。ドライバーがその内部データ構造を設定しているときにエラーが発生しました。アダプターがこのドライバーのバージョンによってサポートされているかどうか確認してください。

[xxxxx089]

メモリーの割振りができません。ユーザーのシステムにインストールされているメモリーの量に関して問題がある可能性があることを示しています。ユーザーのシステムが、オペレーティング・システムが必要とする最低メモリー量を持っているかどうか確認してください。

[xxxxx096]

アダプター・ハードウェア初期設定障害 - 資源衝突の可能性。ドライバーはアダプター・ハードウェアの初期設定を試みましたが、障害が発生しました。これはアダプター資源 (IRQ など) がシステムにインストールされている他のボードと衝突していることを示している可能性があります。

[xxxxx097]

メモリーの割振りができません。ユーザーのシステムにインストールされているメモリーの量に関して問題がある可能性があることを示しています。ユーザーのシステムが、オペレーティング・システムが必要とする最低メモリー量を持っているかどうか確認してください。

[xxxxx0af]

ターゲット・デバイスに割り当てられていたメモリーの割振りを解放できません。通常は、短期間にこのメッセージを頻繁に受け取らない限り、重大な問題ではありません。メモリーは、システムをリポートすることによって再利用可能です。

[xxxxx0ce]

分散収集制限超過。システムからの I/O 要求パケットは、ミニポートによってサポートされているよりも多くの要素を含んだ分散収集要素リストを持っていました。分散収集は、データ転送全体を定義するデータ・セグメントのリストです。分散収集は、トータルのデータ・スループットを改善するための手段です。このエラーは、オペレーティング・システムまたは ASPI アプリケーションなどの、ミニポート・ドライバの外部の構成要素によって生じる可能性があります。

[xxxxxd4]

アダプター・ハードウェア障害 - アダプター・リセット。ホスト・アダプター・ハードウェアに障害を生じ、ミニポートはハードウェアをリセットしなければなりません。

[xxxxx0d6]

内部ドライバー・エラー。ドライバーがその内部データ構造を設定しているときにエラーが発生しました。Adaptec Web サイトまたは BBS から入手可能な最新バージョンのドライバーをインストールしてみてください。



Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-6621-01